

## 研究発表 I

学校名 綾瀬西高等学校 P T A

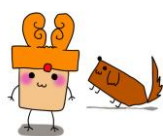
研究テーマ 「学校へ行こう！～子供と学校の応援団～」



### 1 学校紹介

本校は、綾瀬市の西部、海老名市に隣接し、国分寺台の丘陵と目久尻川に囲まれた緑豊かな田園地帯にあります。昭和 58 年に開校し、創立 37 年を迎えました。敷地内からは建設当時、縄文時代以降の遺品の数々が出土し、宮久保遺跡として広く知られるようになりました。校内に史跡碑や出土品の数々が展示されています。

平成 7 年に福祉教養コースが設置され、この地域の福祉活動の拠点校として重要な役割を果たしてきました。そして、平成 13 年には、神奈川県で唯一学校の敷地内にデイサービスセンターが併設され、生徒の福祉実習やボランティア活動、またお年寄りの方々と高校生の交流の場として、お互いに深いかかわりあいを持ってきました。残念ながら福祉教養コースは募集停止となってしまいましたが、このような環境と実績を活かし「福祉の綾西」をミッションとして、現在も「福祉教育」を推進しております。例えば、1 年生全員に、車いす、白杖、シルバー体験などを実施し、福祉科目を 1 年生の時から段階的に選択できるようにしております。また手話や点字などのコミュニケーション方法を学び、老人ホームやデイサービスセンターなどの福祉施設への実習を行うなど、「思いやりの心」を持って行動できる人材の育成に努めています。



本校の目標には、「自己肯定感を高め、いつの時代にも通用する生きる力を身に付ける」というものがあります。この目標を達成するために、「得意を伸ばし苦手手を克服する教育課程」「特性を理解した個別の指

導」「福祉マインド（思いやる心）の育成と実践」「部活動を通じて心技体を鍛える」という 4 本の柱を設定し「生きる力」を育んでいます。

生徒たちは、自然恵まれ落ち着いた環境の中で、勉強、部活動、ボランティア活動などにチャレンジすることによって、経験を重ね日々成長しています。

これまで送り出してきた 1 万人を超える卒業生は、地域社会における様々な分野に貢献するだけでなく、芸能界やプロスポーツ界においても活躍しております。この卒業生たちの活躍を目標に、綾瀬西高校は、“NEXT STAGE”へと飛躍していきます。



### ● 校章

A（綾瀬）、N（西）、H（高校）の 3 文字を重ね合わせたもので、A の下部は大地に足をつけた力強い前進を、N の上部は大地に向かって突き上げた手で若人の意気を示しています。また、3 文字が合成している先端は教育方針の「真・善・美・体」を表現し、さらに周辺の楕円は本校に通う生徒や教職員すべての人の和を表したものです。

### ● どきんこ もっくん

宮久保遺跡からの出土品である縄文土器や木簡をモチーフにした綾瀬西高校マスコットキャラクターです。平成 22 年に本校の生徒がデザインして完成しました。

今では、学校説明会、学校案内のパンフレットやポスターなどに登場し、親しみやすいキャラクターとして活躍しています。

## 2 P T A紹介

### ● 本 部

4月P T A入会式…以前はクラスごとに輪になって役員を決めていましたが、今年は初の試みで学年全体から立候補やくじ引きで役員を選出しました。どちらの方法が良いのか、結論は出ていませんが、P T A活動は楽しそうだと思ってもらえるような選出方法考えていきたいと思っています。

・花植えボランティア…年3回プランターに草花を植え校内を華やかにしています。

### ・校内美化活動

…多くの生徒や役員に参加して頂き、ペンキ塗りを行っています。



・青綾祭(文化祭)…今までは無料喫茶をやっていましたが、今年より P T A全体で物販にチャレンジする予定です。売上は生徒たちに還元したいと考えています。

・陸上競技大会…11月陸上競技大会では生徒たちに無料で飲み物を配布しています。

時期的に天候によっては常温のままでは冷たいものもあり、温かい飲み物を配ることができないか学校にでも交渉中です。

・デイサービスのクリスマス会、七夕まつり…学校に併設されているデイサービスセンターの行事へ参加しました。

生徒と一緒に参加させてもらい、デイサービスの利用者さまとの交流を図っています。

### ● 成人委員会

委員会のほとんどが、入学式当日のくじ引きにより選ばれたメンバーです。

始めから和気あいあいと活動が出来て、いつも賑やかな委員会です。

成人委員会は、会員の教養の向上と、会員相互の親睦を図る目的で、総勢30名で活動しており、主な活動としては、6月に社会見学、12月に手作り講習会です。

今年度の社会見学は、6月28日に実施しました。企画段階から旅行会

社と綿密な打ち合わせを重ね、最終的にはベイエリアを含んだ横浜方面に決定しました。

まず、鶴見の『キリンビール工場』を見学し、ビールの製造工程を案内の方から詳しく学んだ後、ビールの試飲もさせて頂きました。 予算の都合でビールづくり体験はできませんでしたが、日頃慣れ親しんだ

一番搾りを作る工程を詳しく学ぶことが出来ました。工場見学の後は、中華街へ移動し飲茶ランチ



コースを頂きました。その後、赤レンガへ移動し各自お土産などショッピングを楽しみました。

次に12月の手作り講習会です。昨年度は、講師に、ハンドメイドアクセサリー作家の玉野みか先生をお招きし、『サンキャッチャー』を制作しました。パワーストーンに込められた意味を考えながら、ひとつひとつ石を選ぶ工程はとても楽しかったです。

今年度の企画はまだ決まっておりませんが、昨年と同じ講師の方と進めていく予定です。



その他、学校行事の文化祭『青綾祭』では『大人と子どもものめりえ』を企画。お菓子と一緒にほっと一息、憩いの場となりました。塗り絵には自律神経が整うような効果があるそうです。塗り終わった作品はクリアファイルに入れ、マスキングテープやシールでデザインして頂きお持ち帰り頂きました。

今年度の文化祭では、委員会の枠を超えPTA一丸となつての企画となりますが、新しい事への挑戦！今からとても楽しみです。

## ● 広報委員会

主な活動として、学校行事、PTA活動にカメラ片手に参加し、様々な表情、活動風景等撮影し、

広報誌『綾瀬西』が出来上がった物は各学期最終日に配布しています。



1学期は先生の紹介、各学年遠足の様子、PTAの活動報告

2学期は青綾祭、修学旅行、陸上競技大会、PTA活動報告

3学期は先生から卒業生へ向けての言葉、PTA活動報告

の内容で各家庭にお届けしています。広報誌は忙しい方でも見やすい様、文章は少なく、写真を多く取り入れ見る方それぞれの楽しみ方が出来る様工夫をしています。

学校行事では普段見ることの出来ない生徒の様子を間近で見る事が出来たり、非公開の行事に参加出来るメリットがあります。

その他の特色としてPTA各委員会では3年生の親が委員長、副委員長を努めますが私達広報委員会では2年生の親が委員長、副委員長を努めます。

一度経験した3年生がフォローしながら委員会活動を行なう事でスムーズに且つ内容の濃いものが出来上がると共に心細さが軽減します。

今後の取り組みとして、今までカメラに収めた写真を文化祭『青綾祭』にてスライドショーで楽しんで頂ける企画をしていきたいと思っています。

## ● 学年委員会

1年～3年生合わせて17名で活動しています。

主な活動としては、「青綾祭」「スポーツ親

善大会」です。青綾祭では、例年委員会





毎に催し物を行っていましたが、今年からは各委員会、本部が一つになって行いました。

スポーツ親善大会は、学年委員会主催のスポーツ大会です。

毎年「**インディアカ**」という競技を行っています。

この大会は、地域の方々、先生、生徒、PTAの親睦を深めるのが目的です。

毎年とても盛り上がり、真剣勝負が繰り広げられています。

競技の後の、学年委員で作ったトン汁は疲れた身体にしみわたり、トン汁を食べながら皆さんとワイワイ話をし、親睦を深めるのも楽しみの一つです。

今後も、地域の方々や先生、生徒、PTAの親睦や繋がりをもてるよう、様々な活動をしていきたいと思っています。

綾瀬西高校PTAは

## 『学校へ行こう!～子供と学校の応援団～』を

テーマとして子供たちのために活動していきます。

### 「青綾祭実行委員会発足!」



昨年までは、本部、  
→無料喫茶(綾西オリジナルクッキー無料配布)、  
成人教育委員会→

塗り絵、学年委員会→お手玉コーナー、広報委員会→取材。と各々企画してました。

学年委員会は廊下で長年やってましたが、「暑いのでなんとかしてほしい!」とのクレームもあり、同会場にはスペースもなく、それならPTAみんな一緒になって企画しましょう!との本部の呼びかけに賛同いただき、発足しました。レジュメ作成段階では、まだ進行中!

## 研究発表Ⅱ

学校名 厚木清南高等学校 P T A

研究テーマ「交通ルール・マナーを守ろう」

### 1 学校紹介

平成17年4月創立、神奈川県で唯一の全日制

・定時制・通信制の三課程併置の単位制普通科フレキシブルスクールです。15年目を迎え、今年度は全日制231名・定時制92名、通信制116名の計439名が入学し、現在、全校1,992名の生徒が在籍しています。

前身である厚木南高等学校を再編しスタートした本校は、「開校時より解決困難な課題を抱える21世紀の日本および国際社会の中で、主体的に学び感性を豊かに他者と共に生きることを通して、自立した有為な人間を育成する。」という教育目標を掲げ、「フレキシブルスクール」と呼ばれる柔軟な学びのシステムの特徴を生かし、支援を必要とする生徒に対する医療・福祉・労働等の新たなネットワークにより生徒へのきめ細やかな個別支援がなされています。また、電子黒板などのICT機器が充実しており、「主体的で対話的な深い学び」の実践に効果を上げています。そして、図書館には3名の図書司書（全・定・通）が常駐しているので、9時から21時まで開館しています。約25,000冊の蔵書があり、授業をはじめとして生徒の主体的な活動である調べ学習などで有効活用されています。

このように生徒たちは、充実した学びのシステムと施設で、学習活動を行い、生徒一人ひとりの可能性を見出し、個性の伸長を図っています。

### 校名・校章

校名は、所在地「厚木」に続き、清流・相模川の西部に位置する新校の「すがすがしさ・清らかさ」を「清」で、厚木市の南に位置することから「南」を付けました。

校章は、大空の下、清流・相模川の流れをモチーフとして、無限に発展して行くダイナリズムを表し、空の色は伸び行く様子、水の色はたゆみない努力を続ける様子を象徴しています。



### 厚木清南高校イメージキャラクター 「清南花子」

平成26年に生徒の発案によって誕生しました。学校案内などのさまざまな印刷物に登場して、案内役を務めています。



### 2 P T A 紹介

本校は三課程の学校ですので、P T A も全日制、定時制、通信制と独立して活動しています。

全日制 P T A は、本部と成人委員会・広報委員会・環境整備委員会・年次委員会・ふれあい委員会で構成されています。定時制 P T A は、本部と年次広報委員会で構成され8名で活動しています。通信制 P T A は、本部役員11名で活動しています。

いずれの課程の P T A も厚木清南高校

ならびに生徒のために日々活動しています。ここでは全日制PTAの活動について紹介します。

- ・本部…主に学校とのパイプ役であり、諸々の調整や情報提供を行い、各委員会が活動しやすい環境を提供するために活動しています。
- ・成人委員会…会員相互の教養の向上をはかることを目的とし、研修旅行と講習会の企画・運営を行っています。今年度の研修旅行はミュージカル鑑賞会、講習会はフラワーアレンジメントです。
- ・広報委員会…主な活動として、広報誌「SEINAN」の作成発行をしています。広報誌は年2回発行します。
- ・環境整備委員会…校舎内外の環境の整備充実をはかることを目的とし、除草作業・花植えなど緑化活動を中心に活動しています。
- ・年次委員会…夏休み中に開催する「茶話会」（先生方と会員の顔合わせの場）と交流会の企画運営を行っています。茶話会は、リラックスした雰囲気の中で先生方や会員間での情報交換を行っています。毎年好評の行事です。今年度の交流会はワイヤーアクセサリー作りです。
- ・ふれあい委員会…主な活動として、スポーツ大会（6月実施）での飲み物提供とクリーンウォーク（環境美化活動、9月・3月実施）の際の

飲み物や豚汁提供など生徒たちと直接ふれあう活動をしています。

## 【活動紹介】

### ○スポーツ大会での飲み物提供

スポーツ大会の際に、校舎ピロティーを利用し、ふれあい委員を中心にスポーツドリンクの提供をしています。今年は涼しい中での実施でしたが、それでも約250リットルを提供し、生徒からのお礼の声が励みになりました。

### ○SEINAN祭への参加

昨年度は交通安全活動として、本部は学校周辺の危険箇所マップを作成、広報委員会は自転車の安全についてのアンケートを実施しました。また、成人委員会と年次委員会はゲームコーナー、環境整備委員会は手作りフラワーサシェの販売、ふれあい委員会はレジン、ビーズアクセサリー、水引き、クラフトなどの手作り体験を行いました。

### ○クリーンウォーク

地域貢献活動として生徒とともに近隣の環境美化活動を行います。9月と3月に実施していますが、頑張った生徒に対し9月は本部が飲み物を、3月はふれあい委員会が豚汁とおにぎりを提供しています。



### 3 交通安全への取り組み — 課題と対策 —

#### 【課題】

○本厚木駅や東名高速道路の厚木インターチェンジに近く、また幹線国道の246号・129号が近く通り、学校周辺の自動車の交通量が非常に多い。

○狭い道が多く、歩道は少なく狭い。

○徒歩による通学者が多い。 ※自転車通学率は 30%以下

○三課程のフレキシブルスクールのため、生徒の登校・下校時間帯がまちまちである。

○近隣小学校の下校と本校の下校時刻が重なり、歩行者が道路にあふれる状態になることがある。

#### 【学校の取り組み】

○通学路指導

毎日、生徒の下校時刻に合わせ通学路指導を行っています。重点地域を設定し自転車運転や歩行者のマナーについて、生徒への呼びかけをくり返し行っています。

#### ○スケアードストレイト

スタントマンによる「スケアードストレイト」を本校グラウンドで実施しています。交通事故の場面を再現した内容は、現実さながらの迫力あるもので、生徒に交通事故の恐ろしさが伝わったことと思います。平成26年度に県の事業で実施して以降、隔年で行っていますが、費用が高額なためPTAで費用を負担しています。

#### スケアードストレイト

【PTAの取り組み】 ～PTAとしてできることは何か？～

今まで交通安全に関しては、PTAとしてはあまりかかわってきませんでした。発表校となったことをきっかけに何ができるかを試行錯誤してきました。その結果、生徒の実態を把握するとともにハザードマップを作成して、生徒に注意喚起をできないかと考えました。

○生徒の実態把握

◇交通ルールについてのアンケート実施（6月21日）厚木警察署の協力で、歩行者・自転車のルールについてのアンケートを実施しました。その結果、正答率の良くない質問が20項目中5項目ありました。当たり前のことが理解されていないなど感じるものもありましたが、中には、保護者である自分たちも知らない内容もあり、生徒の実態把握を目的に行ったアンケートで

はありますが、とても勉強になりました。

◇生徒との交流（7月5日・12日）

生徒会役員の生徒に交通ルールについての意見を聞いたところ、「大人に交通ルールについて質問すると人によって答えが違い戸惑う。」という答えが返ってきました。アンケートの結果から、ルールやマナーが正確に理解されていないと感じるとともに、私たち大人もルールやマナーを正しく知っていないと子供たちに悪影響を与えてしまうと痛感しました。日を改めて学校周辺で生徒たちが危険だと感じているところを一緒に歩いて検証しました。

○ハザードマップの作成（8月10日）

生徒の実態把握の中でルール・マナーの理解があいまいであることがわかり、学校周辺の危険箇所についてハザードマップを作ることによって、どこで何が危険なのかを全校の生徒に伝え、交通事故の抑止につながられればと考えました。